



第 78 期
報 告 書

(平成25年3月1日から
平成26年2月28日まで)

岡谷鋼機株式会社

証券コード 7485

株 主 の 皆 様 へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第78期(平成25年3月1日から平成26年2月28日まで)の決算を終了いたしましたので、ここに営業の概況等をご報告申し上げます。

平成26年5月

取締役社長

岡 谷 篤 一



営業の概況

営業の経過及び成果

当連結会計年度における世界経済は、ASEAN諸国の一部地域において伸び悩みが見られたものの、米国を中心とした先進国は緩やかな回復基調が続きました。日本経済は、政府の経済政策および日銀の金融緩和等により景況感が回復し、全体的には堅調に推移しました。

このような環境下にあって、連結売上高は7,444億円で前期比7.6%の増収となりました。

損益につきましては、営業利益は140億20百万円（前期比22.9%増）、経常利益は167億50百万円（前期比24.9%増）となりました。当期純利益は102億42百万円で、前期比17.3%の増益となりました。

なお、当期において子会社の合併を含むグループ内事業の一部再編を行いました。また海外では、中国でのものづくり新会社への出資、20ヶ国目の拠点となるオランダ、さらに中国、インドネシア、ベトナム、タイ、オーストラリアにおいて拠点の充実に努めました。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、国内では消費税増税による影響が一時的にあるものの、金融緩和の継続や経済対策の実行が期待され、海外では米国経済に牽引されて持ち直し基調が続くものと予想されま

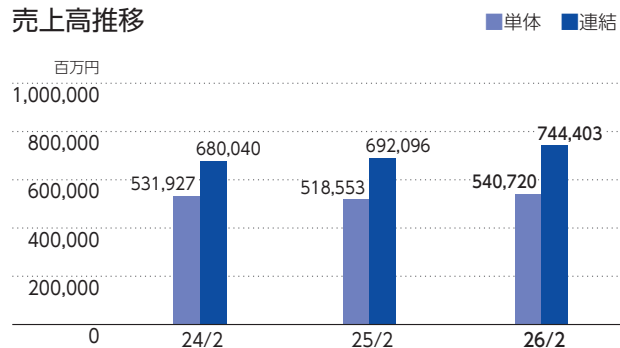
す。
このような経済環境において、当社は国内外のグループ会社共々社会的責任を重視し、世界市場において、“ものづくり”に貢献する感性豊かな「グローバル最適調達パートナー」を目指し、中期計画の課題の達成に注力してまいります。

また、内部統制の充実・強化、コンプライアンスの徹底、環境に配慮した事業活動の推進など、経営品質の継続的改善にも努めてまいります。

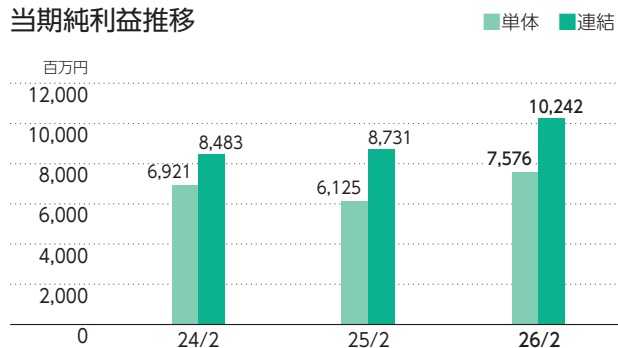
株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

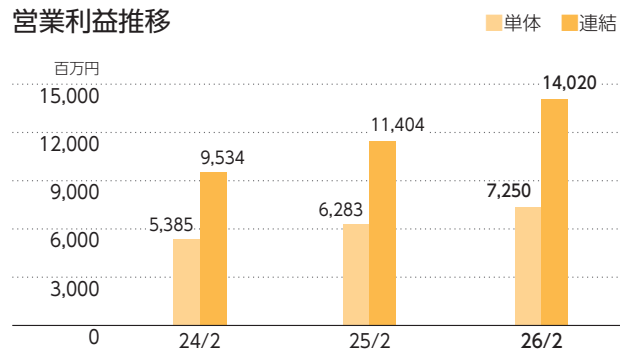
売上高推移



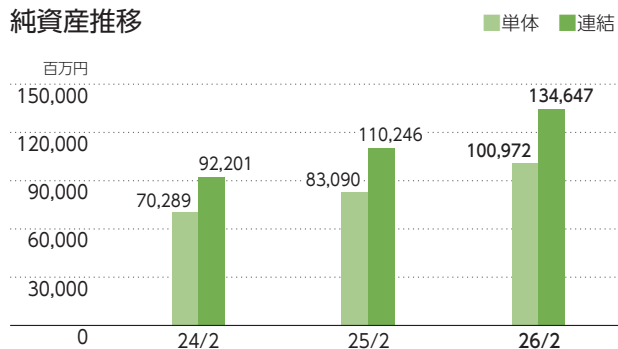
当期純利益推移



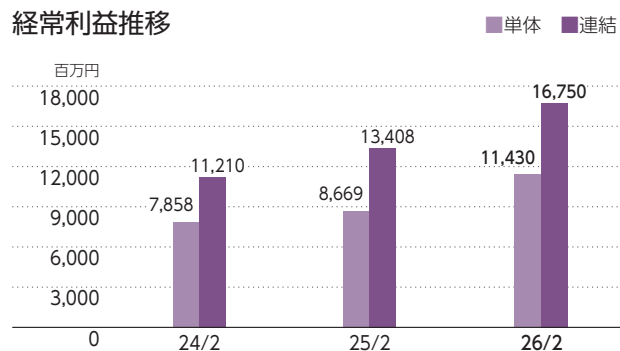
営業利益推移



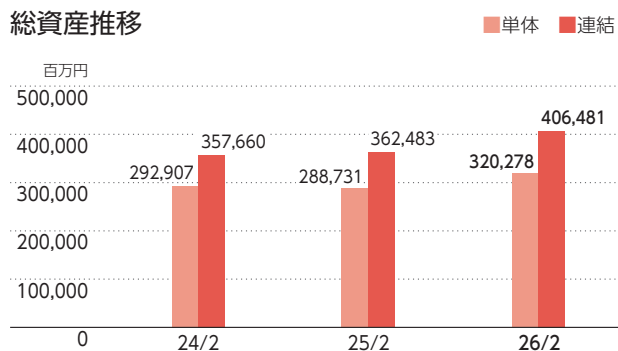
純資産推移



経常利益推移



総資産推移



トピックス

1. ベトナム岡谷鋼機会社 ハノイ事務所開設について

当社子会社のベトナム岡谷鋼機会社は、ハノイ地区においてユーザーに密着した営業活動を行うため、ハノイ事務所を設立し、2013年9月に営業を開始しました。



ハノイ事務所の
入居ビル

2. メキシコ事務所開設について

当社は、当社グループの中米地域における連絡窓口として、自動車関連業界の動向や、鉄鋼・特殊鋼・メカトロ・化成品分野などに関する情報収集活動を行い、今後の取引拡大を図るため、メキシコ合衆国に駐在員事務所を設立し、2013年10月に営業を開始しました。



メキシコ事務所の
入居ビル

3. 欧州岡谷鋼機会社 オランダ支店開設について

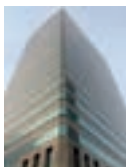
当社子会社の欧州岡谷鋼機会社（本社 ドイツ）は、オランダ王国においてユーザーに密着した営業活動を行うため、アムステルダム市にオランダ支店を設立し、2013年11月に営業を開始しました。



オランダ支店の
入居ビル

4. タイ岡谷鋼機会社 バンナ支店開設について

当社子会社のタイ岡谷鋼機会社は、タイ地区におけるメカトロ分野のビジネスを展開する営業拠点としてユーザーに密着した営業活動を行うため、バンナ支店を設立し、2014年1月に営業を開始しました。



バンナ支店の
入居ビル

5. 豪州岡谷鋼機会社 メルボルン支店開設について

当社子会社の豪州岡谷鋼機会社は、メルボルン地区においてユーザーに密着した営業活動を行うため、メルボルン支店を設立し、2014年2月に営業を開始しました。



メルボルン支店の
入居ビル

※第78期（平成25年3月1日から平成26年2月28日まで）のトピックスのうち、下半期のもを中心に掲載しております。

単元株式数の変更および株式併合に伴う当社株式のお取り扱いについて

平成26年5月22日開催の第78期定時株主総会において、平成26年9月1日を効力発生日として、当社の発行する普通株式について、5株を1株に併合することおよび単元株式数を500株から100株に変更することが承認可決されました。

この株式併合および単元株式数の変更に伴う株主様による特段のお手続きの必要はございませんが、株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合には、その株式について一括して売却処分し、その処分代金を端数が生じた株主の皆様に対して、端数の割合に応じて分配いたします。

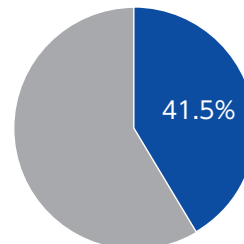
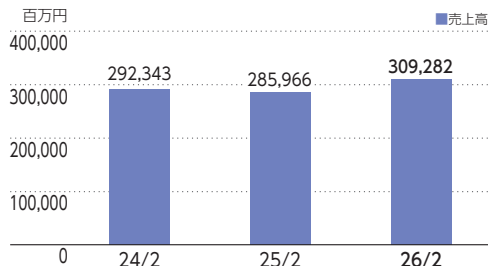
なお、詳細につきましては、別紙「単元株式数変更および株式併合に関するQ&A」をご参照くださるようお願い申し上げます。

セグメント情報

鉄 鋼



鉄屑、棒鋼、鋼矢板、H型鋼、鋼板、鋼管、機械構造用炭素鋼、合金鋼、軸受鋼、工具鋼、ステンレス鋼 他



製造業関連では、建設機械、産業機械、造船向けが伸び悩みましたが、自動車向けが堅調に推移し、土木・建築・内需関連では、需要の回復が見られました。

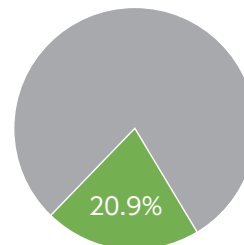
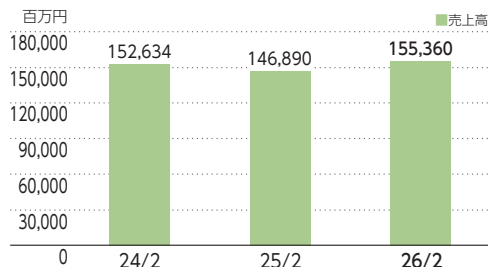
輸出は、東南アジア諸国における中国材の流入により厳しい環境にあるものの、全体としては堅調に推移しました。主力のタイ向けは減少しましたが、中国、台湾、米国向けが伸びました。

鉄鋼部門全体では、前期比8%増収の3,092億円の売上高となりました。

情報・電機



銅・アルミ、レアアース、電子部材、汎用電機品、映像機器、半導体・周辺電子部品、ソフトウェア開発・販売 他



非鉄金属分野では、原材料が国内市場の縮小および需要低迷により減少しましたが、電子部材が海外向けを中心に堅調に推移しました。

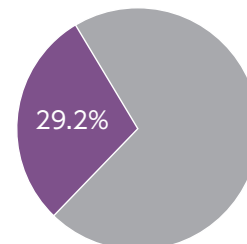
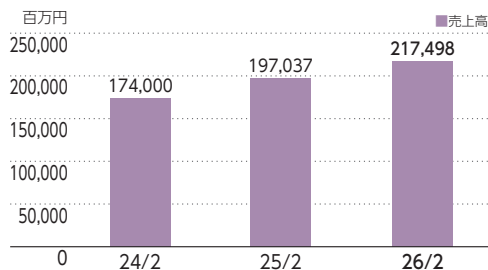
エレクトロニクス分野では、一部材料の価格下落の影響を受けたものの、半導体および電子部品を中心に好調に推移しました。

情報・電機部門全体では、前期比6%増収の1,553億円の売上高となりました。

産業資材



工作機械、工具、産業用ロボット、自動車部品、合成樹脂原料、樹脂成形品、環境・リサイクル対応設備、半導体・電子関連設備機器 他



メカトロ分野、化成品分野ともに、国内外の自動車向けに部品・工具、樹脂原料が堅調に推移しました。

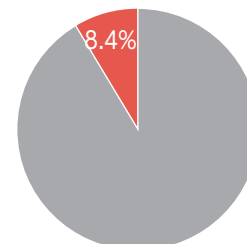
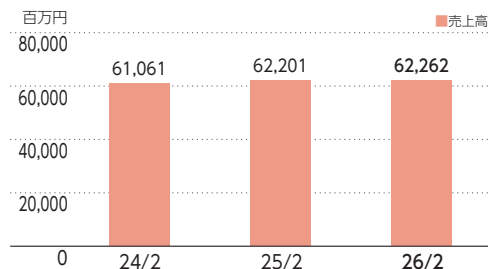
またメカトロ分野では、海外市場における自動車向け設備機械の輸出が好調でした。

産業資材部門全体では、前期比10%増収の2,174億円の売上高となりました。

生活産業



配管資材、住設機器、住宅用資材、不動産開発、分譲マンション、水産物、畜産物、倉庫業 他



配管住設分野では直需向けが堅調に推移し、市販向けも荷動きが回復しましたが、子会社売却の影響により減少となりました。建設分野では物件が減少しました。

食品分野では水産物の輸入が増加しました。

生活産業部門全体では、前期ほぼ横ばいの622億円の売上高となりました。

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当 期 (平成26年2月28日現在)	前 期 (平成25年2月28日現在)
資産の部		
流動資産	245,289	220,745
固定資産	161,191	141,738
有形固定資産	40,243	40,252
無形固定資産	1,015	976
投資その他の資産	119,932	100,509
資産合計	406,481	362,483
負債の部		
流動負債	221,680	209,784
固定負債	50,153	42,453
負債合計	271,833	252,237
純資産の部		
株主資本	85,551	76,516
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	69,074	60,036
自己株式	△ 449	△ 446
その他の包括利益累計額	41,468	26,496
その他有価証券評価差額金	41,461	29,756
繰延ヘッジ損益	△ 9	△ 1
為替換算調整勘定	15	△ 3,258
少数株主持分	7,627	7,233
純資産合計	134,647	110,246
負債純資産合計	406,481	362,483

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当 期 (平成25年3月1日から 平成26年2月28日まで)	前 期 (平成24年3月1日から 平成25年2月28日まで)
売上高	744,403	692,096
売上原価	695,014	646,454
売上総利益	49,389	45,642
販売費及び一般管理費	35,369	34,237
営業利益	14,020	11,404
営業外収益	5,047	4,279
営業外費用	2,316	2,275
経常利益	16,750	13,408
特別利益	39	52
特別損失	301	278
税金等調整前当期純利益	16,488	13,182
法人税、住民税及び事業税	5,743	4,424
法人税等調整額	△ 7	△ 412
少数株主損益調整前当期純利益	10,753	9,169
少数株主利益	510	438
当期純利益	10,242	8,731

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当 期 (平成25年3月1日から 平成26年2月28日まで)	前 期 (平成24年3月1日から 平成25年2月28日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,011	16,104
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,662	△ 3,346
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,050	△ 12,260
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,195	824
現金及び現金同等物の増減額	493	1,322
現金及び現金同等物の期首残高	8,307	6,985
現金及び現金同等物の期末残高	8,801	8,307

連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

当 期 (平成25年3月1日から 平成26年2月28日まで)	株主資本				その他の包括利益累計額				少数株主 持分	純資産 合計	
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定			その他の包括 利益累計額合計
平成25年3月1日残高	9,128	7,798	60,036	△ 446	76,516	29,756	△ 1	△ 3,258	26,496	7,233	110,246
当期の変動額											
剰余金の配当			△ 1,204		△ 1,204				—		△ 1,204
当期純利益			10,242		10,242				—		10,242
自己株式の取得				△ 2	△ 2				—		△ 2
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					—	11,705	△ 8	3,274	14,971	394	15,365
当期の変動額合計	—	—	9,038	△ 2	9,035	11,705	△ 8	3,274	14,971	394	24,401
平成26年2月28日残高	9,128	7,798	69,074	△ 449	85,551	41,461	△ 9	15	41,468	7,627	134,647

単体財務諸表

単体貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当 期 (平成26年2月28日現在)	前 期 (平成25年2月28日現在)
資産の部		
流動資産	173,119	159,168
固定資産	147,158	129,562
有形固定資産	25,327	26,235
無形固定資産	245	333
投資その他の資産	121,586	102,993
資産合計	320,278	288,731
負債の部		
流動負債	173,340	167,449
固定負債	45,965	38,190
負債合計	219,305	205,640
純資産の部		
株主資本	59,988	53,618
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	43,499	37,127
自己株式	△ 437	△ 434
評価・換算差額等	40,983	29,471
その他有価証券評価差額金	40,992	29,472
繰延ヘッジ損益	△ 8	△ 1
純資産合計	100,972	83,090
負債純資産合計	320,278	288,731

単体損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当 期 (平成25年3月1日から 平成26年2月28日まで)	前 期 (平成24年3月1日から 平成25年2月28日まで)
売上高	540,720	518,553
売上原価	516,325	494,897
売上総利益	24,394	23,656
販売費及び一般管理費	17,143	17,373
営業利益	7,250	6,283
営業外収益	5,485	3,650
営業外費用	1,305	1,264
経常利益	11,430	8,669
特別利益	40	19
特別損失	508	235
税引前当期純利益	10,962	8,453
法人税、住民税及び事業税	3,141	2,828
法人税等調整額	244	△ 501
当期純利益	7,576	6,125

単体株主資本等変動計算書（要旨）

（単位：百万円）

当 期 (平成25年3月1日から 平成26年2月28日まで)	株主資本 利益剰余金								評価・換算差額等				純資産合計	
	資本金	その他利益剰余金							自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益		評価・換算 差額等合計
		資本剰余金	利益準備金	買換資産 圧縮積立金	特別償却 積立金	配当準備 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金						
平成25年3月1日残高	9,128	7,798	1,244	1,243	8	100	27,800	6,730	△ 434	53,618	29,472	△ 1	29,471	83,090
当期の変動額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
剰余金の配当	-	-	-	-	-	-	-	△1,204	-	△1,204	-	-	-	△1,204
当期純利益	-	-	-	-	-	-	-	7,576	-	7,576	-	-	-	7,576
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 2	△ 2	-	-	-	△ 2
買換資産圧縮積立金の取崩	-	-	-	△ 23	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-
特別償却積立金の取崩	-	-	-	-	△ 5	-	-	5	-	-	-	-	-	-
別途積立金の積立	-	-	-	-	-	-	5,000	△5,000	-	-	-	-	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11,519	△ 7	11,512	11,512
当期の変動額合計	-	-	-	△ 23	△ 5	-	5,000	1,400	△ 2	6,369	11,519	△ 7	11,512	17,881
平成26年2月28日残高	9,128	7,798	1,244	1,220	2	100	32,800	8,131	△ 437	59,988	40,992	△ 8	40,983	100,972

岡谷鋼機のCSR－経営的側面－

当社は、世界市場の中で、ものづくりに貢献する活動を通じて、あらゆるステークホルダーに受け容れられる企業であり続けたいと考えます。地球市民としての自覚を持ち、地球環境に配慮した視点で、『グローバル最適調達パートナー』としての総合力を発揮することにより社会的責任を果たし、持続的発展を目指してまいります。

◆ 当社のCSRに対する基本的な考え方

1. 持続可能な成長を目指し、社会的責任を果たすとともに、経営品質の継続的改善、内部統制の充実・強化に努めることにより、企業価値を高める。
2. 株主に対して、最大限の還元を行うべく努力する。
3. 国の内外を問わず人権を尊重し、関係法令、国際ルールおよびその精神を遵守する。
4. 岡谷鋼機グループ環境方針に則り、自主的、積極的に行動する。
5. 社員に対して、公正な処遇を実施し、多様な自己啓発の機会を提供する。
6. 良き地球市民として、地域および社会に対し貢献活動を行う。

※これらの内容は「企業行動憲章」にも記載されております。全文は当社ホームページをご参照ください。
(<http://www.okaya.co.jp/>)

◆ 当社のCSRのルーツ

1836年（天保7年）秋、6代惣助は笹屋の経営方針および日常の心得として「店則」「家則」などを掲げ、さらに毎朝就業前に全員で唱和する「日誦五則^{にっしょうごそく}」を定め、実践しました。これらは、現代におけるCSRの精神に相通じるものであり、笹屋の店員としての業務・営業姿勢を方向づけ、商いの繁栄に寄与したと考えられております。

「日誦五則」

- 一、外を飾らず心を磨くべし
- 一、分限を知り贅を慎むべし
- 一、虚を憎み誠を重んずべし
- 一、働くを楽しみ懶^{らん}を羞^{しゅう}とすべし
- 一、責任を知り力を協すべし

※懶（らん）：怠けること、羞（しゅう）：恥

岡谷鋼機のCSR—社会的側面—

〔社員とともに〕

◆ 海外研修制度

中期計画Gih-15における「若手の海外研修」として、1年間当社の海外拠点に派遣し、研修生としてOJTを行う「海外トレーニー制度」、1週間当社の海外拠点に派遣し、自身の提案したテーマに基づき、現地にて調査・研究を行う「若手海外研修」、3ヶ月間海外の語学学校で勉強を行う「海外語学研修」を取り入れております。



◆ 禅寺研修

中期計画Gih-15における「心の教育」の一環として、新入社員を対象に、禅寺研修を行いました。

僧侶からの法話、座禅、写経などを通して、自らを客観的に見つめ直し、感謝と我慢の心を学びました。



〔地域とともに〕

◆ タイ王国における財団設立

タイ王国で事業を展開する当社グループ会社5社は、同国における社会貢献活動の一環として、主に教育支援を目的とした財団を2013年12月に設立しました。

財団名称は、サクラ ルアムナムジャイ財団です。



◆ 街の景観美化活動

年に数回、事務所周辺を社員で清掃しており、新入社員の研修にも本社周辺の清掃活動を取り入れております。

名古屋本店、大阪店では毎月一度、社員が朝に周辺の清掃活動を行っています。



◆ チャリティーコンサート開催

社会貢献活動の一環として、愛知県芸術劇場コンサートホールにおいて「OKAYA CHARITY CONCERT 2013 ~感謝の夕べ~」を開催しました。

多くの皆様にご賛同いただき、チケット売上金と、当社からのマッチングギフトを社会福祉法人愛知県共同募金会に募金しました。



◆ フィリピン台風被害への義援金寄付

当社は、2013年11月8日にフィリピン中部を襲った台風30号による被災者の方々に対し、グループ会社とともに義援金を寄付しました。

岡谷鋼機のCSR—環境的側面—

当社は、地球環境と事業活動との密接なかかわりをよく認識のうえ、地球環境の保全と経済社会の持続的な発展を常に念頭に置き、環境への取組みを進めております。

◆ 環境ISO14001認証の取得

当社は1999年9月に環境宣言を行い、それ以降、岡谷鋼機グループ環境方針に沿って環境マネジメントシステムを構築し、環境保全活動に取り組んでおります。2000年6月に審査登録機関LRQA（ロイド・レジスター社）の審査に合格し、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しました。以降、引続きグループ会社を含め認証サイトを拡大しております。

【ISO14001グループ認証書】



◆ 六合エレメック株式会社 本社ビル「第5回サステナブル建築賞」受賞

当社子会社の六合エレメック株式会社は、2011年12月に竣工した本社ビルが環境負荷低減、省エネ性能を備えたビルとして成果を挙げていることが評価され、2014年2月に「第5回サステナブル建築賞 国土交通大臣賞」を受賞しました。



利益配分に関する基本方針および株主優待について

1. 配当政策

当社グループは、株主に対する利益還元を企業経営の重要政策の一つと考えており、競争力を維持・強化して株主資本の充実に努めつつ、配当を行うことを基本方針としております。

2. 株主優待

当期（2014年2月期）株主優待として、期末所有株式数500株以上の株主様に、《山の幻 愛知米ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。

また、第2四半期末所有株式数1,000株以上の株主様に、《山の幻 愛知米ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。

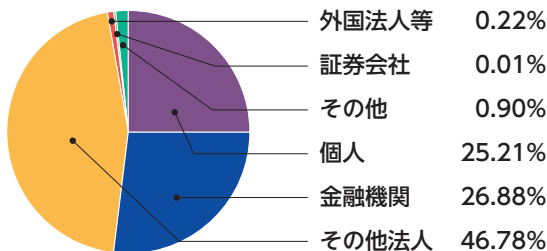
株式の状況 (平成26年2月28日現在)

株式の状況

株式数	
発行可能株式総数	177,856,000 株
発行済株式の総数	48,600,000 株
株主数	3,416 名

株式分布状況

所有者別割合



大株主の状況

株主名	持株数 千株	持株比率 %
岡谷不動産株式会社	6,071	12.60
岡谷篤一	2,408	4.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,314	4.80
新日鐵住金株式会社	2,120	4.40
三井住友信託銀行株式会社	2,010	4.17
株式会社りそな銀行	1,327	2.75
日本興亜損害保険株式会社	1,085	2.25
岡谷鋼機社員持株会	903	1.87
オークマ株式会社	816	1.69
公益財団法人真照会	693	1.43

- (注) 1. 持株比率は自己株式(425,502株)を控除して計算しております。
 2. 公益財団法人真照会は、将来社会に貢献し得る人材を育成し、併せて学術・技芸の振興を図るために必要な奨学援助をなすことを目的として、大正6年に創設されました。

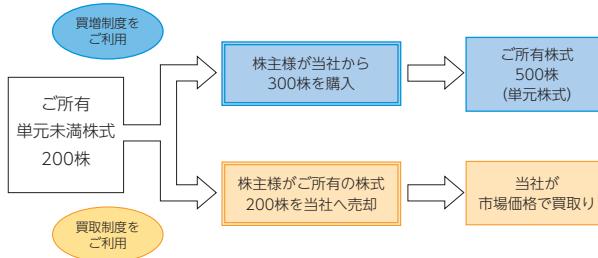
株式に関するお知らせ

単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が500株となっており、単元未満株式(1~499株)については市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求(売却)、または500株(1単元)となるよう買増請求(購入)をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は、裏面記載の連絡先にお申し出ください。

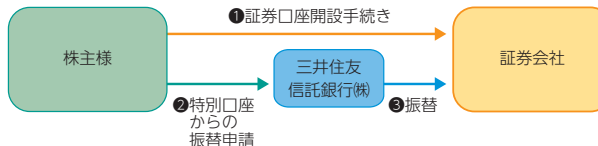
【単元未満株式買増・買取制度例】

○単元未満株式200株をご所有の株主様の場合



特別口座から証券会社の口座への振替申請について

特別口座*に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお勧めします。



*特別口座
株券電子化前にはふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった場合に、当該株式が記録される口座です。

株主メモ

ホームページのご案内

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
 定時株主総会 5月
 配当金支払株主確定日 期末配当 2月末日

中間配当 8月31日

公告の方法

電子公告
 ただし、電子公告によることができない
 やむを得ない事由が生じたときは、日本
 経済新聞に掲載いたします。

電子公告掲載ホームページアドレス

<http://www.okaya.co.jp/ir/pn/>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

連絡先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
 全国本支店で行っております。

岡谷鋼機のホームページでは、決算短信
 等の詳しい財務データや各種IR情報を掲載
 しています。
 是非一度ご覧ください。



・岡谷鋼機ホームページアドレス
<http://www.okaya.co.jp/>

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> 単元未満株式の買取・買増請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更 	□座を開設されている 証券会社
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部

特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> 単元未満株式の買取・買増請求 特別口座から証券口座への振替請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更 	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねて
 おります。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分
 方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告
 を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封
 させていただきます。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



岡谷鋼機株式会社



見やすく読みまちがえにくい
 ユニバーサルデザインフォント
 を採用しています。



環境に配慮した
 植物油インキを
 使用しています。